

ART MEETS ARCHITECTURE
COMPETITION 2001-2025

AAC POSTER COMPETITION
2008-2013, 2020-2025

第25回
学生立体アートコンペティション

AAC 2025

AAC
ART MEETS
ARCHITECTURE
COMPETITION



ご挨拶

アート・ミーツ・アーキテチャー・コンペティション（AAC）は、2001年に始まった当社主催の学生限定立体アートコンペです。

当社では、居住者にゆとりと遊びの空間を提供するため、自社開発したすべてのマンションのエントランスホールに彫刻や絵画などの芸術作品を展示して、ミニ美術館のような空間を創っています。その活動の中で、毎年何百人も芸大を受験し、その中から数十人が入学して、大学院へ十数名ほどが進んでも、卒業後も彫刻を続ける学生が1人いるかないかという現実を知りました。そこで、当社の活動を学生が知ることで、毎年数千棟と建つマンションのエントランスホールに彫刻を置くチャンスがあることに気付いて欲しいと思ったことから、AACを開始しました。

AACでは、最優秀賞を受賞した学生の作品が実際にマンションのエントランスホールに常設展示されます。自分の作品が公共の場所に設置されたという実績が、学生に対し卒業後プロとして活動していくうえでの自信につながり、活躍の場を広げるきっかけになればと考えています。

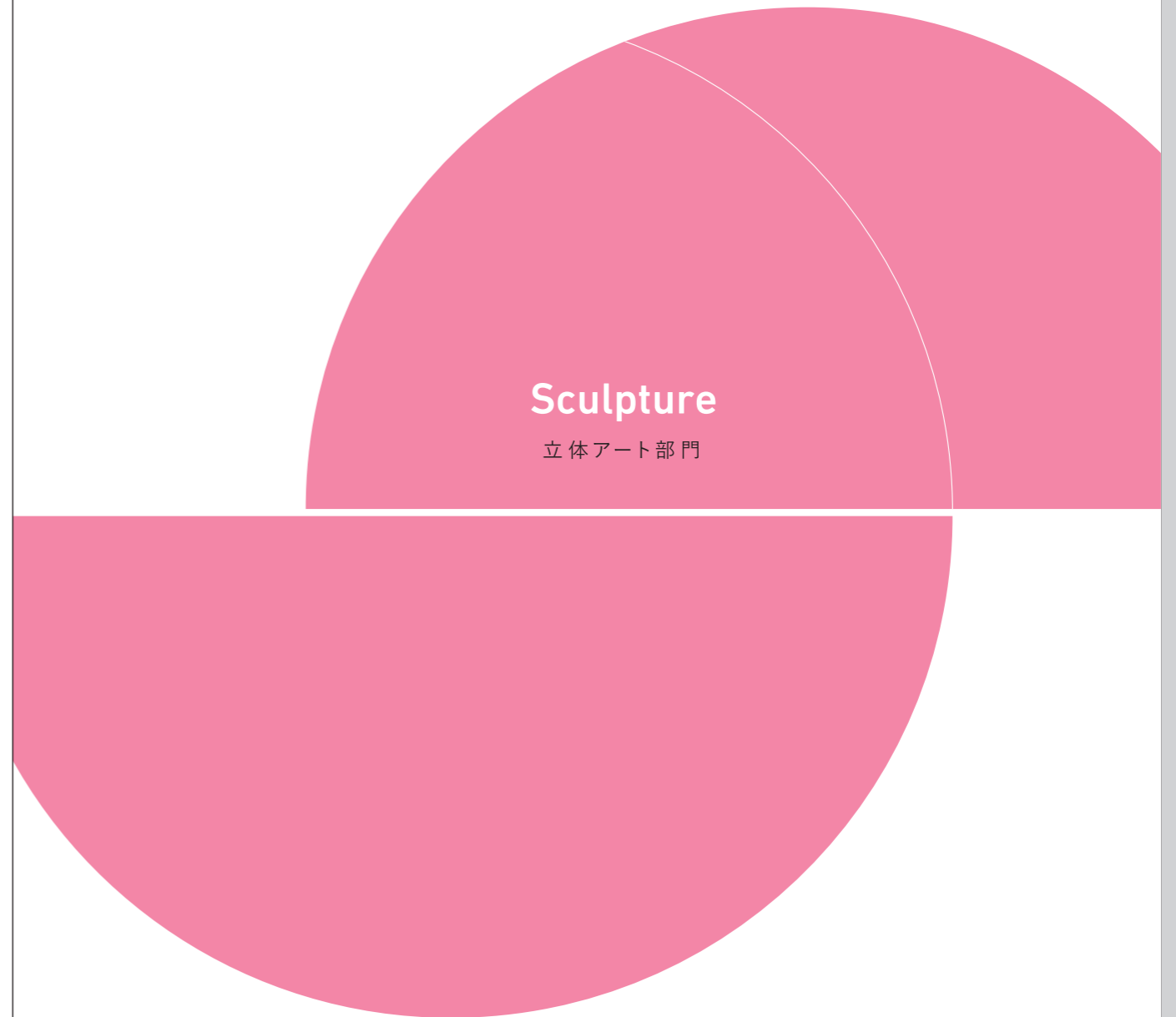
また、AACは公益社団法人企業メセナ協議会が主催する、企業が取り組むメセナ（芸術・文化振興による社会創造）活動を表彰する「メセナアワード2017」において優秀賞を受賞いたしました。私はこの活動が世の中の役に立ち、また、社会的な評価もいただいたことを大変うれしく思っております。

今回、AAC25周年という節目を迎え、これまで多くの若い才能と出会い、共に歩んでこられたことに心より感謝申し上げます。当社は、今後も若手芸術家の発掘・支援・育成に力を注ぎ、AACをより充実したコンペティションとして育ててまいります。

そして、この活動をこれからの25年、さらには50年へとしっかりとつないでいく決意です。

皆さまの変わらぬご理解とご支援を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社アーバネットコーポレーション
代表取締役会長兼CEO
服部 信治



最優秀賞

「緑の詩」

劉 宇凡
広島市立大学大学院
芸術学部 造形芸術専攻



素材：漆、木、螺鈿





[作品コンセプト]

作品は木材、螺鈿、漆など質感が強い素材を使い、素材に新たな意味を刻みこみ、見慣れた植物、景色の断片を作品に入れ、日常の中にある詩情を表現しています。
 人々はいつも新しい物に好奇心を持っているにもかかわらず、日々の暮らしで慣れ親しんでいる物の美に気づきにくいものです。よく見れば日常にも小さな美があり、感性をとぎすますことで同じ道を歩くたびに新しい旅になります。日常を見つめ直し、ありふれた物の美を見出し、幸せになることを願って制作しました。

このたび最優秀賞をいただき、大変光栄に思います。日々の制作の中で、木材や螺鈿、漆といった素材と向き合いながら、身近な植物や景色の断片を通して、日常に潜む詩情を表現したいと考えてきました。今回の受賞は、これまでの取り組みが少しでも多くの方に届いたのだと感じるとともに、今後も作品制作に真摯に向き合っていく決意を新たにする機会となりました。私の作品を通して、見る方が身の回りの小さな美しさや幸せに気づき、穏やかな時間を感じていただけたなら、これほど嬉しいことはありません。



[作品設置場所]

アジュールコート都立大学
 構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上3階/地下1階建
 総戸数：45戸
 竣工年：2025年10月



アジュールコート都立大学 エントランスホール



外観

審査風景

[一次審査]

氏名、性別、学校、受賞歴などのプロフィールは、完全に伏せた状態で書類審査を行う。最終審査に進む3作品と、入選数作品を選出する。



[最終審査]

実際に展示されるエントランスホールに作品を持ち込み、仮設置し、作者によるプレゼンテーションを行う。プレゼンテーション終了後、最優秀賞を決定する。



優秀賞

「Sprouting glass moon」

鈴木 万佑子
富山ガラス造形研究所
研究科 1年



素材：ガラス

【作品コンセプト】

この作品は、未来に向けて葉を広げる、風や自然のゆらぎを感じさせる若葉をもとにデザインしています。《Sprouting grass moon》は草木が芽吹く4月の満月を指します。瑞々しい萌芽の風とともに送り出し、物言わぬ静かな月光で、帰ってくる人、訪れる人をやさしく迎えます。積層した板ガラスを削って制作しており、視点の動きにもなって移り変わる光の階調が、一瞬で通り過ぎてしまうエントランスにおいてささやかな楽しみをもたらせると考えています。深い暗さから空気に溶け込むような透明感への濃淡、光を溜め込むガラスの素材特性が、見る人に呼吸を整えるような心地良さをもたらします。

既に存在する空間がより心地良いものとなるよう、自分は何を以て貢献できるかという面に意識を向けるきっかけとなりました。普段はガラスを専門に扱う環境に身を置いているので、審査員の方々それぞれの視点からコメントをいただき、素材に捉われず視野を広げる大切さを改めて実感しております。困難が幾度も立ち現れ、未熟さを痛感しましたが、その都度諦めずに道を探したことがすべて、これからの制作において糧となると感じております。今後も視野を広く持ちながら、制作研究に精進してまいります。



優秀賞

「alternative 02」

佐々木 陸
東京藝術大学大学院
美術学部 デザイン学科



素材：石材、金属

【作品コンセプト】

「繋ぐ」「広げる」をテーマに、建築素材と構造をモチーフとした立体作品です。マンションのエントランスという、人が集い交わる空間にふさわしく、個と集団、自然と人工、素材と技術の関係性を視覚化しています。中心に据えた石は、住宅建設の基礎であり、人の暮らしの原点でもあります。その石に人工的な面を刻み、ボルトやジョイントで緑の構造体と接続することで、人類の発明が自然へ介入し、共存しようとする意志を表しています。構造体が空間へと伸び広がる様は、人と人のつながりや、暮らしの中にある広がりの可能性の象徴です。自然の中の“不自然”である鮮やかな緑は、都市と自然の境界を曖昧にし、共生のかたちを問いかけています。

このコンペティションに参加したことで、自分の作品を見直す良い機会になったと思います。自分が作品を通して何を伝えたいのか、そしてそれをどのように伝えるべきなのかを常に考えながら制作していました。ただ好きなように作品を作るだけではなく、実際にマンションに設置され、入居者の方々と共に存在することを想像しながら制作することは、デザイン的な視点も求められ、多くの学びがありました。また今回、異なるジャンルのプロフェッショナルである審査員の方々とお話する中で、自分の今後の活動についても改めて考えることができました。



入選

「コウヤ」

ソウ タンニ
武蔵野美術大学
造形学部 彫刻専攻 2年

「流々」

鈴木 友梨
多摩美術大学 1年
美術学部 統合デザイン学科

「都市の狭間から」

新井 陽太
富山ガラス造形研究所
研究科 1年

「すみか」

小栗 千廣
金沢美術工芸大学 3年
美術工芸学部 彫刻専攻

「群青」

高橋 呼春
石川県立輪島漆芸技術研修所 2年
普通科 きゅう漆専攻

「舞い」

飯野 忠郎
多摩美術大学大学院
美術学部 彫刻専攻

「想い想われ」

馬 瑜蔚
京都市立芸術大学大学院
美術研究科 陶磁器専攻

「AETHER BLUE」

相園 顕
富山ガラス造形研究所
造形科 2年

「雫」

北川 さとこ
大阪芸術大学大学院
芸術研究科博士課程前期 芸術制作ガラス工芸専攻

「ひかりの座」

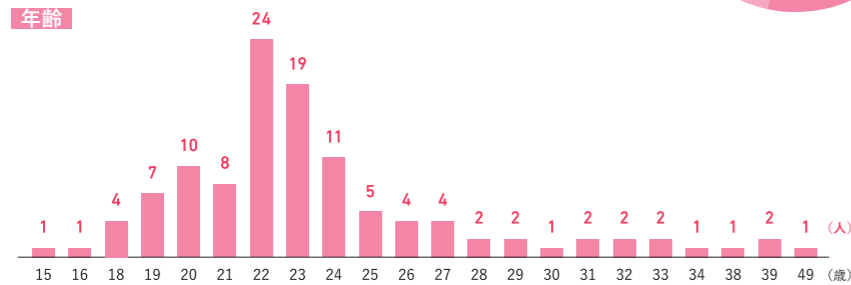
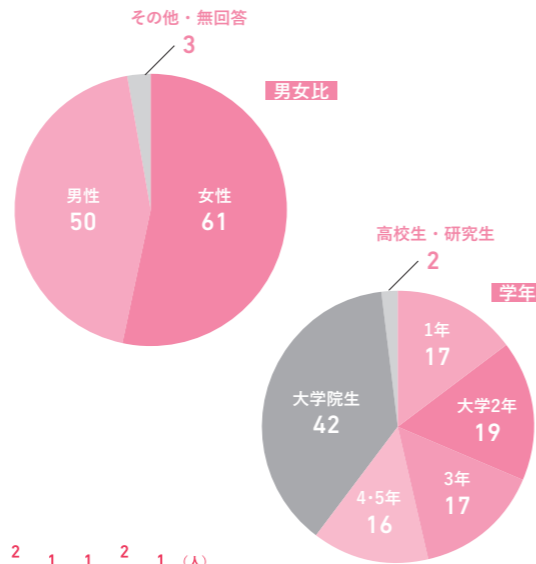
高野 桜蘭
武蔵野美術大学大学院
造形研究科 美術専攻 彫刻コース

応募者集計結果

応募総数 **135** 作品 (2024年度: 122作品 / 2023年度: 114作品)

応募者数 **114** 名 (2024年度: 113名 / 2023年度: 99名)

平均年齢 **23.7** 歳 (2024年度: 23.5歳 / 2023年度: 22.6歳)
※最年少15歳、最年長49歳



学校

多摩美術大学・大学院	21	東北芸術工科大学	2	長岡造形大学	1
東京藝術大学・大学院	14	横浜美術大学	1	長野日本大学高等学校	1
富山ガラス造形研究所	11	京都精華大学	1	東京モード学園	1
広島市立大学	10	京都美術工芸大学	1	東京都市大学大学院	1
武蔵野美術大学	8	近畿大学	1	東北生活文化大学高等学校	1
金沢美術工芸大学・大学院	5	九州産業大学	1	日本大学	1
筑波大学	5	国士舘大学	1	法政大学大学院	1
愛知県立芸術大学	4	札幌市立大学	1	北海道芸術デザイン専門学校	1
京都市立芸術大学	3	星槎道都大学	1	名古屋芸術大学	1
東京造形大学	3	石川県立輪島漆芸技術研修所	1	名古屋造形大学	1
秋田公立美術大学	2	早稲田大学	1		
女子美術大学	2	多治見市陶磁器意匠研究所	1		
大阪芸術大学	2	中部大学	1		

都道府県

東京都	37	岩手県	1
神奈川県	11	宮城県	1
富山県	11	秋田県	1
広島県	10	新潟県	1
愛知県	6	千葉県	1
茨城県	6	長野県	1
京都府	6	福岡県	1
石川県	6		
埼玉県	5		
北海道	3		
岐阜県	2		
山形県	2		
大阪府	2		

審査員

審査員長



木村 絵理子
Eriko KIMURA
弘前れんが倉庫美術館 館長



中谷 ミチコ
Michiko NAKATANI
彫刻家



小山 登美夫
Tomio KOYAMA
小山登美夫ギャラリー株式会社
代表取締役社長 / 日本現代美術商
協会 (CADAN) 副代表理事



服部 信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役会長 兼 CEO

キュレーター。2000年より横浜美術館に勤務、2012年より2023年まで主任学芸員。2005-23年まで横浜トリエンナーレのキュレトリアル・チームに携わり、2020年の第7回展では企画統括。2023年より、弘前れんが倉庫美術館副館長兼学芸統括を務め、2024年より現職。主な展覧会企画に「蜷川実花with EiM: 儚くも煌めく境界 Where Humanity Meets Nature」(2024年、弘前れんが倉庫美術館)、オンライン展覧会「距離をめぐる11の物語: 日本の現代美術」展(2021年、主催: 国際交流基金)、「昭和の肖像: 写真でたどる『昭和』の人と歴史」展(2017-2019年、横浜美術館の後、アーツ前橋とナショナル・ギャラリー・オブ・カナダへ巡回)、「BODY/PLAY/POLITICS」展(2016年、横浜美術館)、「奈良美智: 君や僕にちょっと似ている」展(2012-13年、横浜美術館、青森県立美術館、熊本市現代美術館)など。多摩美術大学・金沢美術工芸大学客員教授、美術評論家連盟会員。

1981年東京都生まれ。多摩美術大学彫刻学科卒業。2014年ドレスデン造形芸術大学Meisterschülerstudium修了。主な個展に、アートフロントギャラリー(東京2022, 21, 19)、三重県立美術館柳原義達記念館(三重、2019)、私立大室美術館(三重2024, 23, 21, 20, 19, 18, 17, 16)があり、主なグループ展は「丸の内ストリートギャラリー」(東京、2022)、「越後妻有大地の芸術祭」(2018、新潟)「20th DOMANI・明日」国立新美術館(2018、東京)等へ参加。2020年に東京メトロ・虎ノ門駅にパブリックアート「白い虎が見ている」を制作。2010年VOCA展奨励賞、2020年タカシマヤ美術賞、2023年中原二郎賞受賞。多摩美術大学准教授。

1963年東京生まれ。1987年東京芸術大学芸術学科卒業。1996年に小山登美夫ギャラリーをオープン。国内外のアーティストを展示。海外のアートフェアにも積極的に参加し、日本のアーティストを世界で紹介。一方、国内でのアートマーケットの充実と拡大を模索する。

1950年福岡県生まれ。一級建築士大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年に設計事務所として株式会社アーバネットコーポレーションを設立し、多くの分譲用ファミリーマンションの設計等を手掛ける。その後、自社で土地を取得し、投資用ワンルームマンションを中心とした独自性のある開発事業を展開し、2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた設計士でありながら不動産開発会社を起し上場させたという異色の経歴を持つ。一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションにも、もっと文化的な要素を取り入れたと思うようになったことをきっかけに、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

【総評】

木村絵理子——最終審査に進まれた3名の作品はどれも非常にクオリティが高く、力のあるものでした。審査は作品の優劣を決めるものではなく、どの作品も毎日見ても飽きない、新鮮な気持ちにさせてくれるという点で審査員一同の意見が一致していました。その中で今回の審査の決め手となったのは、作品と「空間と場との相性」です。最優秀賞の劉さんの作品は、家から3本の木が生えているイメージで、作者がご自身のパートナーや猫という「家族」を重ねていると聞き、このマンションに住まう多様な家族が家を作っていくイメージと重なりました。また、設置場所はそれほど奥行きのある空間ではありませんが、劉さんの作品はレリーフに近く、比較的奥行きが浅く作られています。それでいて漆の滑らかな立体感や、光の当たり方でキラキラと光る蝶螺(貝殻)の表情があり、絵画とは異なります。時間に応じて表情を変えるこの作品が、住民が「ほっとできるような空間」に最もふさわしいと判断しました。鈴木さんの作品はガラスの重なりが美しく非常に魅力的でしたが、もっと自然光が降り注ぐ場所が似合うかもしれません。佐々木さんの作品はエッジが効いており、クリエイティブな刺激を受けるものでした。

中谷ミチコ——劉さんの作品は、彫刻と漆が繋がったような作品でした。漆の作家は技術に走りがちですが、彼の場合は漆の肌の質感をモチーフと調和させ、非常に柔らかく温かい感じの作品に仕上がっていると思いました。鈴木さんの作品は、ガラスの美しさが結晶化されているようでした。佐々木さんの作品は、クレバーな印象で、素材に惹かれていたのを感じ、今後も作り続けてほしいと思いました。

小山登美夫——劉さんの作品は、重ねられた漆がクリムトの森の絵のように、物質的な強さを持って木を表現しており、絵画的でありながら彫刻的な素材とのやり取りが魅力的でした。鈴木さんの作品は、板ガラスの色の美しさが際立ち、物体としてクオリティに文句のないものでした。佐々木さんの作品は、重い石と人工的なパイプを組み合わせ、石が浮いているという、彫刻家とは異なる立体の考え方が面白く、素材の研究も感じられました。

株式会社アーバネットコーポレーション



Poster ポスター部門

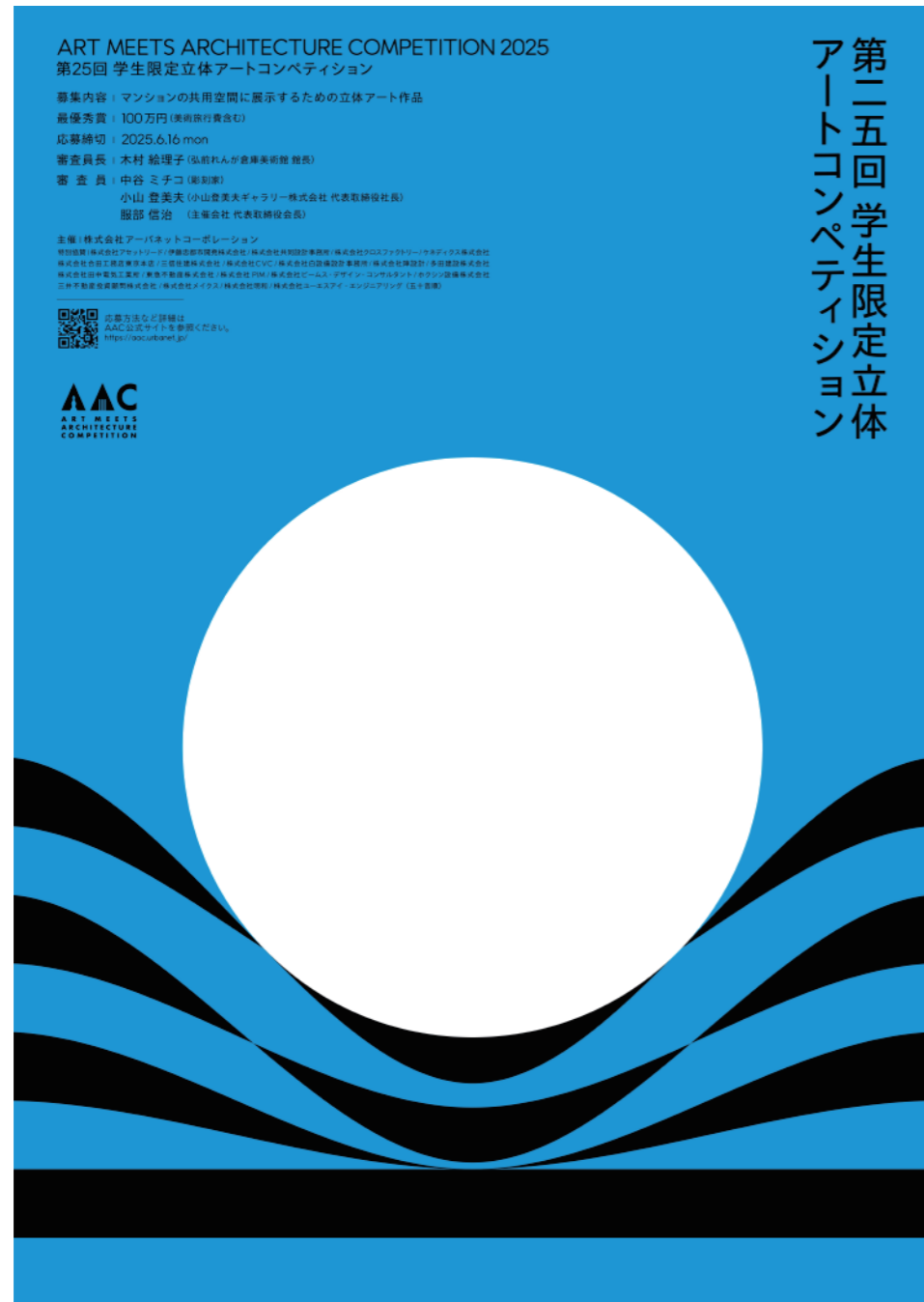
最優秀賞

「重」

楠本 葵

東京造形大学

造形学部デザイン学科 グラフィックデザイン専攻領域 1年



応募時の作品

立体と平面の違いに重さがあると考え、平面的な白い丸が重さを持った立体的な球体に見えるように表現しました。ブラッシュアップでは、文字の組み方を細かくアドバイス頂き、多くの人の目に触れるポスターだからこそその指摘だと気付かされました。実際に街中に掲出するポスターは円をくり抜いた加工を施し、掲出場所の背景によってポスターのデザインが変化します。ネットでポスターが見られる世界だからこそ、現地でポスターを見ることに面白さが生まれたと思います。この経験で得た気付きや学びを、これからの作品に昇華できるよう頑張ります。



入選

「うまれるかたち」

成見 りょう

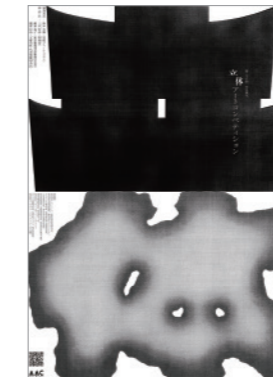
女子美術大学 芸術学部
デザイン・工芸学科
ヴィジュアルデザイン専攻 3年



「人工と自然、さらにその前へ」

藤原 陽

東北芸術工科大学 デザイン工学部
グラフィックデザイン学科 2年



「1・2・3次元!」

伊藤 颯太

前橋工科大学 工学部
建築・都市・環境工学群
建築都市プログラム 3年



「見える」

西島 美海

多摩美術大学 美術学部
グラフィックデザイン学科 2年



「間」

鈴木 杏子

京都工芸繊維大学 工芸科学部
デザイン・建築学課程 3年



「paper gap」

田代 雪月佳

武蔵野美術大学
視覚伝達デザイン学科 1年



「盆景立方」

梶 悠吏

東京デザイン専門学校
グラフィック科 1年



「CREATE」

松川 生吹

横浜氷取沢高等学校
普通科 3年



審査員

審査員長



佐々木 俊
Shun SASAKI
グラフィックデザイナー

2010年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。アドブレーション、グリップデザインを経て、2016年AYOND（アヨンド）を設立。2020年JAGDA 新人賞受賞。これまでに、詩人・最果タビの『夜空はいつでも最高密度の青色だ』等の著書や詩の展示構成、2019年展覧会「デザインの（居）場所」（東京国立近代美術館）、2021年展覧会「200年をたがやす」（秋田市文化創造館）、2021年「NHK 紅白歌合戦」番組ロゴ等のデザイン・アートディレクション、2023年「ハヤカワ新書」装丁などを担当。参加展示に、2018年「ことばをながめる、ことばとあるく一詩と歌のある風景」（太田市美術館・図書館）などがある。著書として『くるまのえほん ぶるばびぶーん』（福音館書店）がある。



猪瀬 香織
Kaori INOSE
コンテスト情報サイト「登竜門」ブランドディレクター／株式会社JDN コンテスト事業部長

千葉県出身。2006年に千葉大学大学院 デザイン専攻 修士課程修了。システムエンジニア、宇宙航空研究開発機構（JAXA）広報部を経て、2017年に株式会社JDN入社。「登竜門」編集長として年間2,000件を超えるコンテスト情報を紹介し、2024年2月より現職。デザインをはじめとするコンテストの告知、運営の両面に携わっている。



服部 信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役会長 兼 CEO

1950年福岡県生まれ。一級建築士 大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年に設計事務所として株式会社アーバネットコーポレーションを設立し、多くの分譲用ファミリーマンションの設計等を手掛ける。その後、自社で土地を取得し、投資用ワンルームマンションを中心とした独自性のある 開発事業を展開し、2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた 設計士でありながら不動産開発会社を起こし上場させたという異色の経歴を持つ。一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れた いと思うようになったことをきっかけに、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

【総評】

佐々木俊——昨年に引き続き、楽しく審査させていただきました。熱意ある作品が多く見受けられた一方で、一つのデザインの色を変えたり文字組みを少しだけ変えた複数パターンで応募する人がいることが気になりました。色やレイアウトを「これだ!」と自己決定することもデザイナーにとって大切な仕事です。ぜひ今後は自分のデザインに自信と責任を持って勝負してほしいと思いました。受賞した楠本さんの作品は、非常に明快で、平面ならではの空間的表現に最短距離で到達しているように思えました。シンプルだからこそ見る側の想像を膨らませてくれるグラフィックデザインです。粘り強いブラッシュアップの末、最終的に白い円を抜き加工することで、より効果的なポスターになったと思います。受賞した楠本さんをはじめ入選者のみなさん、おめでとうございます。

猪瀬香織——AAC立体アートコンペ最終審査会を取材してきたご縁で、今年初めて告知ポスターの審査員を務めました。中学・高校生から大学院生まで多くの方が考え抜いて応募された作品と向き合う時間は、緊張感がありつつも刺激的でした。最優秀作品は、群を抜いてシンプルでありながら力強く、ひととき目を引きました。黒い線で表現された空間の中央に、重力を感じさせるように丸が鎮座する構図は、立体アートがマンションエントランスに設置される風景のよう。抽象的な表現を用いながらも写実的な側面を持つ点が興味深く、AACというコンペをよく研究されたと感じました。完成したポスターを拝見し、ワクワク感が高まる加工に驚きました。このポスターを見てどんな立体作品が応募されてくるのか、とても楽しみにしています。

審査風景・表彰式・ブラッシュアップ打合せ



株式会社アーバネットコーポレーション



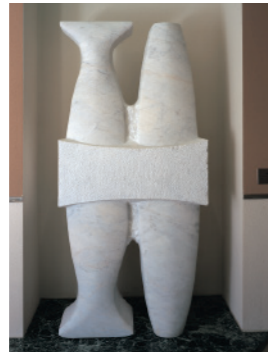
HISTORY OF AAC 2001-2025 | Sculptor 2001-2025

今までの最優秀賞作品を全てご紹介いたします。

2001



高橋桃 | 牛I



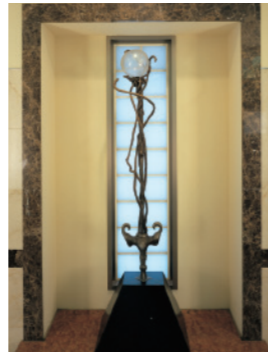
伴翼 | akka

2002



藤本明洋 | 目に見えない偶然

2003



柳原絵夢 | monk's habit

2004



青柳慎 | Family's scenery

2005



武藤亜希子 | その木が生える場所

2006



堀園実 | 息を止めてきこえるリズム

2007



岩田秀和 | Balance - from a division body -

2008



小椋聡子 | ゆるやかなときのながれのなかで

2009



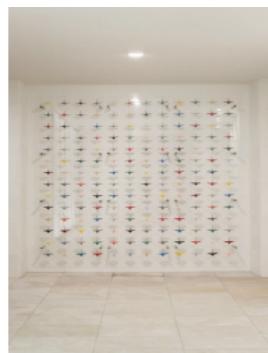
八木貴史 | 天上の虹

2010



宮原嵩広 | A.S.series 「第二の扉」

2011



堀康史 | HOPE

2012



帆足枝里子 | 景

2013



村上仁美 | eternal moment

2014



井田大介 | UNTITLED

2015



渡辺志桜里 | ひとつのうみ

2016



古川千夏 | GEMME

2017



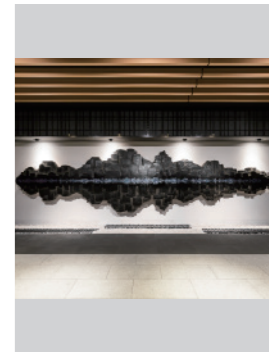
金俊来 | Waterfall

2018



雷康寧 | Be water my friend

2019



白谷琢磨 | the city

2020



勝川夏樹 | Microcosm

2021



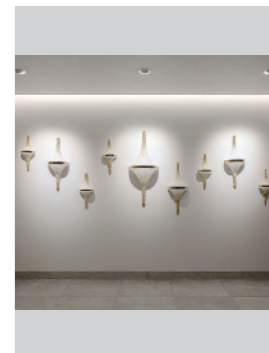
魏楠 | Power of Flower

2022



平尾祐里菜 | 千種万花

2023



洪詩楽 | 星群

2024



中居瑞菜子 | Be yourself

2025



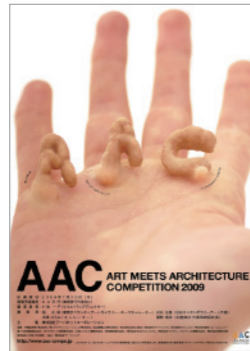
劉宇凡 | 緑の詩

2008



佐野夏記 | (作品タイトルなし)

2009



村岡あさこ | 手に豆が出来る程

2010



増川友梨・齋藤菜月 | HOUSE AAC

2011



藤平奈央子 | 平面から立体へ

2012



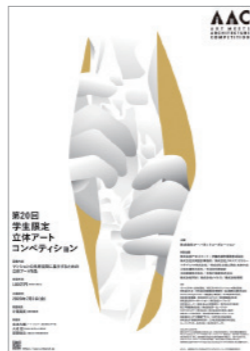
戸塚香里 | あたらしい鏡

2013



関谷大志朗 | なにをみる。

2020



藤田理紗子 | 空間に産む

2021



大橋佐和子 | get bigger

2022



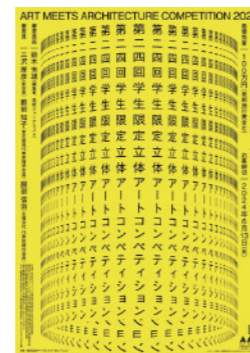
鮎川裕之伸 | 作る

2023



松井寛太 | 試行錯誤

2024



北田恵一 | 円柱 want you

2025



楠本葵 | 重

2001年からスタートしたAACは、2025年で25回目の開催となりました。
 手探りでスタートした第1回目の応募数は、4作品。
 その中から立体作品1点、レリーフ作品1点が最優秀賞に選ばれました。
 アート界で活躍されている多くの方々が審査にご協力くださり、
 少しずつですが応募数も増え、毎年全国から多彩な作品が寄せられています。
 今後もこのコンペを継続することにより、若手芸術家の発掘・支援・育成に努めてまいります。

HISTORY OF AAC 2001-2025 | DATA

2001 最優秀賞 高橋桃 | 牛I 東京造形大学大学院
優秀賞 大成哲 | いち 日本大学
審査員 山口史貴 東京造形大学
彫刻家 高岡典男
古賀賢治 アートディレクター/株式会社CYA 代表取締役社長
櫻庭春来 画家
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト用賀アジールコート (東京都 世田谷区)

2002 最優秀賞 藤本明洋 | 目に見える偶然 明星大学大学院
優秀賞 三神慎一郎 | 彼女は見ている、彼女の世界観 東京藝術大学
森園雅明 | slow life | 日本大学 彫刻専攻 3年
審査員 金澤毅 美術評論家/成安造形大学名誉教授/元 原美術館館長
加藤陽之 STUDIO VOICE編集長
高岡典男 彫刻家
安部公房 | 無題 武蔵野美術大学大学院
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 パテラ百合ヶ丘グランアジール (神奈川県 川崎市)

2003 最優秀賞 柳原絵夢 | monk's habit 東京藝術大学大学院
優秀賞 青柳慎 | 見知らぬワタシ 京都造形芸術大学大学院
安部公房 | 無題 武蔵野美術大学大学院
森貴也 | ここから... 大分大学大学院
審査員 金澤毅 美術評論家/成安造形大学名誉教授/元 原美術館館長
正木基 美術評論家/目黒区美術館 学芸員
加藤陽之 STUDIO VOICE編集長
高岡典男 彫刻家
古賀賢治 アートディレクター/株式会社CYA 代表取締役社長
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージグランデ三軒茶屋アジールコート (東京都 世田谷区)

2004 最優秀賞 青柳慎 | Family's scenery 京都造形芸術大学大学院
優秀賞 今井紫緒 | 組み立てられた時間 東京藝術大学大学院
本田祐介 | a part 東北芸術工科大学
審査員 金澤毅 美術評論家/成安造形大学名誉教授/元 原美術館館長
高岡典男 彫刻家
古賀賢治 アートディレクター/株式会社CYA 代表取締役社長
清水敏男 美術評論家/学習院女子大学教授
加藤陽之 STUDIO VOICE編集長
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト三軒茶屋アジールコートII (東京都 世田谷区)

2005 最優秀賞 武藤亜希子 | その木が生える場所 東京藝術大学大学院
優秀賞 佐脇遥 | Tom Cat 2005 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ
向川未桜 | 杜の子 北海道教育大学 芸術文化課程 美術 1年
柳公絵 | 成長 長岡造形大学
審査員 岡部あおみ 美術評論家/武蔵野美術大学教授
保科豊巳 現代美術家/東京藝術大学助教授
広本信幸 @ギャラリータグポート 担当ディレクター
真壁佳織 美術ジャーナリスト
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト田園調布アジールコート (東京都 世田谷区)

2006 最優秀賞 堀園実 | 息を止めてきこえるリズム 沖縄県立芸術大学
優秀賞 北川太郎 | 時空ピラミッド 愛知県立芸術大学大学院
武末裕子 | membran 東京藝術大学大学院
審査員 青木淳 建築家
宮村周子 編集者/ライター
小山登美夫 小山登美夫ギャラリーオーナー
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト板橋仲宿アジールコート (東京都 板橋区)

2007 最優秀賞 岩田秀和 | Balance -from a division body- 東京藝術大学大学院
審査員特別賞・優秀賞 小泉悟 | 経過する時間 沖縄県立芸術大学大学院
優秀賞 井川彩子 | ゆるり 東京藝術大学大学院
審査員 南條史生 森美術館館長
西沢立衛 建築家/ライター
佐谷周吾 ギャラリスト/シュウゴアーツ代表
児島やよい キュレーター/コーディネーター/ライター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト両国南アジールコート (東京都 墨田区)

2008 最優秀賞 小椋聡子 | ゆるやかなときのながれのなかで 東京藝術大学大学院
優秀賞 三上賢治 | Wall 広島市立大学大学院
奥村太郎 | ときのなみ 京都市立芸術大学大学院
審査員 酒井忠康 世田谷美術館館長/美術評論家
小柳敦子 ギャラリー小柳ディレクター
鈴木芳雄 マガジンハウス フルータス 副編集長
内田真由美 アート・コーディネーター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 アジールコート荻窪 (東京都 杉並区)

[ポスター部門]
最優秀賞 佐野夏記 静岡文化芸術大学 デザイン学部
審査員特別賞 早川裕子 武蔵野美術大学
審査員 鈴木芳雄 マガジンハウス フルータス 副編集長
菊地敦己 Bluemarkアートディレクター
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2009 最優秀賞 八木貴史 | 天上の虹 武蔵野美術大学大学院
優秀賞 片井彩霞 | うづくまる 九州産業大学大学院
本郷芳哉 | 立つこと 東京藝術大学
審査員 小池一子 クリエイティブディレクター
堀元彰 東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーター
白石正美 白石コンテンポラリーアート代表
北澤ひろみ キュレーター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 アジールコート武蔵小杉 (神奈川県 川崎市)

[ポスター部門]
最優秀賞 村岡あさこ | 手に豆が出来る程 多摩美術大学
審査員 えぐちりか アーティスト/アートディレクター
北澤ひろみ キュレーター
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2010 最優秀賞 宮原嵩広 | A.S.series 「第二の扉」 東京藝術大学大学院
優秀賞 堀康史 | セルメン 多摩美術大学
小野真由 | 彩 多摩美術大学
審査員 新見隆 デザイン・美術評論家/キュレーター
植松奎二 芸術家
千葉由美子 ユミコチバアソシエイツ代表
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 AXAS森下sta. (東京都 江東区)

[ポスター部門]
最優秀賞 増川友梨 | 齋藤菜月 | HOUSE AAC 女子美術大学
審査員 杉山ユキ 株式会社博報堂 アートディレクター
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2011 最優秀賞 堀康史 | HOPE 多摩美術大学
優秀賞 帆足枝里子 | 土塊 女子美術大学大学院
向川千世 | 時を紡いで 大阪教育大学大学院
酒井忠康 世田谷美術館館長/美術評論家
岩淵貞哉 月刊『美術手帖』編集長
内田真由美 アート・コーディネーター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト両国アジールコート (東京都 墨田区)

[ポスター部門]
最優秀賞 藤平奈央子 | 平面から立体へ 日本大学
審査員 帆足英里子 株式会社ライトパブリシティアートディレクター
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2012 最優秀賞 帆足枝里子 | 景 女子美術大学大学院
優秀賞 グループ名: 金保/平山 - 金保洋・平山里紗 | 結 金沢美術工芸大学
山口恵美 | catena 佐賀大学大学院
審査員 南條史生 森美術館館長
広本伸幸 実践美学者
児島やよい キュレーター/コーディネーター/ライター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 AXAS上野北 (東京都 台東区)

[ポスター部門]
最優秀賞 戸塚香里 | あたらしい鏡 武蔵野美術大学
審査員 長嶋りかこ 博報堂 アートディレクター/デザイナー
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2013 最優秀賞 村上仁美 | eternal moment 愛知県立芸術大学大学院
優秀賞 大野晴美 | Human sign 女子美術大学大学院
安達淳 | 表出 武蔵野美術大学大学院
審査員 土屋公雄 彫刻家/愛知県立芸術大学教授
小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
宮村周子 編集者/ライター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージグランデ蒲田アジールコート (東京都 大田区)

[ポスター部門]
最優秀賞 関谷大志朗 | なにをみる。 関西大学大学院
審査員 高井薫 株式会社サン・アドアートディレクター
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2014 最優秀賞 井田大介 | UNTITLED 東京藝術大学大学院
優秀賞 穴井麻美 | 見つめる 多摩美術大学大学院
グループ名: 進藤・山崎・前原・横田 | フォトンの日々
進藤篤 東京藝術大学大学院
山崎明史 日本大学大学院
前原良平 日本大学
横田安紀 日本大学
審査員 塩田純一 新潟市美術館館長/美術評論家
岩淵貞哉 月刊『美術手帖』編集長
森千花 東京都現代美術館 学芸員
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 グランドコンシェルジュ新御徒町アジールコート (東京都 台東区)

2015 最優秀賞 渡辺志桜里 | ひとつのうみ 東京藝術大学大学院
優秀賞 佐藤風太 | 気配 東京藝術大学
金俊来 | 日の出 京都市立芸術大学大学院
清水敏男 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE代表
鈴木芳雄 編集者/美術ジャーナリスト/愛知県立芸術大学客員教授
小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージグランデ清澄白河アジールコート (東京都 江東区)

2016 最優秀賞 古川千夏 | GEMME 広島市立大学大学院
優秀賞 中尾俊祐 | Corona 和歌山大学
堀田光彦 | 朝の輝き 東京藝術大学大学院
秋元雄史 東京藝術大学大学院美術館館長/金沢21世紀美術館館長
望月かおる 月刊『美術手帖』副編集長
内田真由美 アート・コーディネーター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト蔵前IIアジールコート (東京都 台東区)

2017 最優秀賞 金俊来 | Waterfall 京都市立芸術大学大学院
優秀賞 後藤宙 | Heterogen 東京藝術大学大学院
土井彩香 | Starting from white 東京藝術大学大学院
審査員 堀元彰 東京オペラシティアートギャラリーチーフ・キュレーター
三沢厚彦 彫刻家
小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 AXAS代々木八幡アジールコート (東京都 渋谷区)

2018 最優秀賞 雷康寧 | Be water my friend 東京藝術大学大学院
優秀賞 佐野圭亮 | 現の秤 東京藝術大学大学院
堀田光彦 | 精神の美 東京藝術大学大学院
審査員 馬淵明子 国立西洋美術館館長
ヤノベケンジ 現代芸術作家
内田真由美 アート・コーディネーター
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 ステージファースト両国IIアジールコート (東京都 墨田区)

2019 最優秀賞 白谷琢磨 | the city 東京藝術大学大学院
優秀賞 番原耕一郎 | Neighbor 広島市立大学大学院
五十嵐亮太 | 半分の阿吽 東京藝術大学大学院
審査員 藤森照信 建築家/建築史家/東京都江戸東京博物館館長
橋本麻里 ライター/エディター/公益財団法人永青文庫副館長
小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 アジールコート台東根岸 (東京都 台東区)

2020 最優秀賞 勝川夏樹 | Microcosm 東京藝術大学大学院
優秀賞 グループ名: hamuhamu - 早坂雅寿・堀真代 |
ひとつときひとつとき 東京都立大学
山崎稚子 | むれやなぎ 文化服装学院
片岡真実 森美術館 館長
宮津大輔 アート・コレクター/横浜美術大学 学長
大成哲 彫刻家/第1回AAC優秀賞受賞
服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所 メイクス新中野アジールコート (東京都 中野区)

[ポスター部門]
最優秀賞 藤田理紗子 | 空間に産む 女子美術大学
審査員 森井ユカ 立体造形家/雑貨コレクター
古平正義 アートディレクター/デザイナー
服部信治 主催会社 代表取締役社長

2021 最優秀賞 隗楠 | Power of Flower 京都市立芸術大学大学院
 優秀賞 袁方洲 | さんすいの間 東京藝術大学大学院
 山口聡士 | 蜃気回層 東京工業大学大学院
 審査員 青木淳 建築家 / 京都市美術館館長
 荒神明香 / 南川憲二 現代アートチーム 目[mé]
 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 /
 日本現代美術商協会 (CADAN) 代表理事
 服部信治 主催会社 代表取締役社長
 設置場所 ステージグランデとさわ台アジールコート (東京都 板橋区)

2025 最優秀賞 劉宇凡 | 緑の詩 広島市立大学大学院
 優秀賞 鈴木木佑子 | Sprouting glass moon 富山ガラス造形研究所
 佐々木陸 | alternative 02 東京藝術大学大学院
 審査員 木村絵理子 弘前れんが倉庫美術館 館長
 中谷ミチコ 彫刻家
 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO
 設置場所 アジールコート都立大学 (東京都目黒区)

[ポスター部門]
 最優秀賞 大橋佐和子 | get bigger 呉工業高等専門学校
 審査員 古平正義 アートディレクター / デザイナー
 ナカムラクニオ 「6次元」主宰 / 映像ディレクター
 服部信治 主催会社 代表取締役社長

[ポスター部門]
 最優秀賞 楠本葵 | 重 東京造形大学
 審査員 佐々木俊 グラフィックデザイナー
 猪瀬香織 株式会社JDN コンテスト事業部長
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO

2022 最優秀賞 平尾祐里菜 | 千種万花 広島市立大学大学院
 優秀賞 袁方洲 | サクラの柱 東京藝術大学大学院
 中居瑞菜子 | 杜の黎明 東京藝術大学大学院
 審査員 保坂健二郎 滋賀県立美術館ディレクター (館長)
 岩淵貞哉 「美術手帖」総編集長
 大竹利絵子 彫刻家
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO
 設置場所 錦糸町Vプロジェクト (東京都江東区)

[ポスター部門]
 最優秀賞 鮎川裕之伸 | 作る 多摩美術大学
 審査員 ナカムラクニオ 「6次元」主宰 / 映像ディレクター
 上西祐理 アートディレクター / グラフィックデザイナー
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO

2023 最優秀賞 洪詩楽 | 星群 多摩美術大学
 優秀賞 杉森杏香 | 日々泡 京都市立芸術大学大学院
 五十嵐俊治 | Kasane 東京大学大学院
 審査員 秋元雄史 東京藝術大学名誉教授 / 美術評論家
 西澤徹夫 建築家
 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 /
 日本現代美術商協会 (CADAN) 副代表理事
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO
 設置場所 西大井プロジェクト (東京都品川区)

[ポスター部門]
 最優秀賞 松井寛太 | 試行錯誤 多摩美術大学
 審査員 上西祐理 アートディレクター / グラフィックデザイナー
 宮本武典 キュレーター / 東京藝術大学准教授
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO

2024 最優秀賞 中居瑞菜子 | Be yourself 東京藝術大学大学院
 優秀賞 三原航大 | 方舟 大阪芸術大学大学院
 遠藤由季子 | 黎明の途 富山ガラス造形研究所
 審査員 鈴木芳雄 編集者 / 美術ジャーナリスト
 三沢厚彦 彫刻家
 藪前知子 東京都現代美術館学芸員
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO
 設置場所 戸越プロジェクト (東京都品川区)

[ポスター部門]
 最優秀賞 北田恵一 | 円柱 want you 武蔵野美術大学
 審査員 宮本武典 キュレーター / 東京藝術大学准教授
 佐々木俊 グラフィックデザイナー
 服部信治 主催会社 代表取締役会長兼CEO

AAC2025 立体アートコンペティション概要

募集期間	2025年4月7日～6月16日
募集内容	設置場所の空間を生かした立体アート作品
条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未発表のオリジナル作品 2. 展示場所にアンカー等で固定できる形状 3. マンションの入居者にとって安全で心地よさを感じさせる作品 4. 電源の供給を必要とする作品は不可
設置場所	アジールコート都立大学 (東京都目黒区) のエントランスホール
素材	石・鉄・FRP 等、長期展示に耐えうる材質
作品サイズ	幅1,500 × 奥行500 × 高さ3,100 (mm) に収まるもの / 台座置き約100kg以下 壁付け約30kg以下、いずれも人力で搬入が可能なもの
応募資格	全国の大学・大学院・短期大学・専門学校・高校等で、美術・芸術・デザイン・建築・空間演出等を学んでいる学生 (グループ可)
応募点数	複数応募可
賞	最優秀賞 (1点) …… 賞金総額100万円 (美術旅行費を含む) / 作品は作者名 (グループ名) の入ったプレートと共にマンションに常設設置 優秀賞 (2点以上) …… 賞金20万円 入選 (数点) …… 賞金5万円
制作補助金	一次審査を通過した入賞作品 (3点以上) には制作補助金として20万円+搬出入費を支給 <small>※遠方者の交通費・宿泊費も別途支給</small>
協賛企業 ※50音順	特別協賛 株式会社アセットリード / 伊藤忠都市開発株式会社 / 株式会社共同設計事務所 / 株式会社クロスファクトリー / ケネディクス株式会社 / 株式会社合田工務店東京本店 / 三信住建株式会社 / 株式会社CVC / 株式会社白設備設計事務所 / 株式会社陣設計 / 多田建設株式会社 / 株式会社田中電気工業所 / 東急不動産株式会社 / 株式会社PIM / 株式会社ピームス・デザイン・コンサルタント / ホクシン設備株式会社 / 三井不動産投資顧問株式会社 / 株式会社メイクス / 株式会社明和 / 株式会社ユーエスアイ・エンジニアリング
協賛	株式会社エル設計事務所 / カイタイ工業株式会社 / 株式会社核建築設計事務所 / 協立ソリューションズ株式会社 / 株式会社グッドライフスタイルプラス / 京王建設株式会社 / 株式会社後藤組 / 株式会社コルピソス / 坂田建設株式会社 / 三誠産業株式会社 / 株式会社シーファイブ / 株式会社住宅新報 / 新三平建設株式会社 / 株式会社第一ヒューテック / 株式会社大和産業 / 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション / 株式会社中村建工 / 株式会社ニシヤマ建築デザイン / 日ポリ化工株式会社 / 株式会社不動産経済研究所 / 株式会社吉田正志建築設計室
賛助	株式会社インプランニング / 株式会社アクシード設計事務所 / 株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所 / イデア株式会社 / 株式会社ウミイチ / エスパスリエ建築工房一級建築士事務所 / 有限会社キューオーエルクリエイション一級建築士事務所 / 株式会社協栄組 / 株式会社グローブアドバンス / 篠崎・進士法律事務所 / タカラスタンダード株式会社 / 株式会社地域環境開発 / 株式会社ディグアース / ナチュラルデザイン一級建築士事務所 / 株式会社柳学アーキテクト

【発行日】 2026年1月30日 【発行所】 株式会社アーバネットコーポレーション 〒100-6035 東京都千代田区豊が岡3-2-5豊が岡ビルディング35階 TEL: 03-6550-9160 (代) 【デザイン】 YUKA DESIGN Co., Ltd.

